

産業競争力強化・地球温暖化対策に係る主要事業について

令和6年5月14日
 環境県民局
 商工労働局
 農林水産局
 土木建築局

項目	事業概要	取組状況等									
<p>1 それぞれの欲張りなライフスタイルの実現 ・ 県民が抱く不安を軽減し『安心』につなげる</p>	<p>① 地球温暖化対策推進事業【一部新規】【環境県民局】 261 百万円</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ネット・ゼロカーボン社会の実現に向けて、エネルギー価格の高騰の影響も踏まえ、家庭や中小事業者等における省エネルギー対策を推進するとともに、太陽光発電や小水力発電等の再生可能エネルギーの導入促進に取り組む。 <table border="1" data-bbox="510 823 1444 1374"> <thead> <tr> <th colspan="2">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="510 871 573 1374">省エネ対策等の推進</td> <td data-bbox="573 871 1444 1374"> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="573 871 840 1062">省エネ機器導入支援事業 (200 百万円)</td> <td data-bbox="840 871 1444 1062"> ○ LED照明器具の購入経費に対する補助による、家電の省エネ化の推進 ・ 補助率：1/2 ・ 補助上限：10,000 円 ・ 補助台数：約 20,000 台 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="573 1062 840 1198">スマートハウス普及促進事業 (5 百万円)</td> <td data-bbox="840 1062 1444 1198"> ○ 既存住宅の断熱リフォーム等の普及・啓発を実施 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="573 1198 840 1374">中小企業省エネルギー普及啓発・導入支援事業 (22 百万円)</td> <td data-bbox="840 1198 1444 1374"> ○ 省エネ設備改修等促進のための、補助金等の制度周知や活用に向けた個別相談等を実施 ○ 温室効果ガス排出量の「見える化」を中心とした伴走型省エネ支援を実施 </td> </tr> </table> </td> </tr> </tbody> </table>	内 容		省エネ対策等の推進	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="573 871 840 1062">省エネ機器導入支援事業 (200 百万円)</td> <td data-bbox="840 871 1444 1062"> ○ LED照明器具の購入経費に対する補助による、家電の省エネ化の推進 ・ 補助率：1/2 ・ 補助上限：10,000 円 ・ 補助台数：約 20,000 台 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="573 1062 840 1198">スマートハウス普及促進事業 (5 百万円)</td> <td data-bbox="840 1062 1444 1198"> ○ 既存住宅の断熱リフォーム等の普及・啓発を実施 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="573 1198 840 1374">中小企業省エネルギー普及啓発・導入支援事業 (22 百万円)</td> <td data-bbox="840 1198 1444 1374"> ○ 省エネ設備改修等促進のための、補助金等の制度周知や活用に向けた個別相談等を実施 ○ 温室効果ガス排出量の「見える化」を中心とした伴走型省エネ支援を実施 </td> </tr> </table>	省エネ機器導入支援事業 (200 百万円)	○ LED照明器具の購入経費に対する補助による、家電の省エネ化の推進 ・ 補助率：1/2 ・ 補助上限：10,000 円 ・ 補助台数：約 20,000 台	スマートハウス普及促進事業 (5 百万円)	○ 既存住宅の断熱リフォーム等の普及・啓発を実施	中小企業省エネルギー普及啓発・導入支援事業 (22 百万円)	○ 省エネ設備改修等促進のための、補助金等の制度周知や活用に向けた個別相談等を実施 ○ 温室効果ガス排出量の「見える化」を中心とした伴走型省エネ支援を実施
内 容											
省エネ対策等の推進	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="573 871 840 1062">省エネ機器導入支援事業 (200 百万円)</td> <td data-bbox="840 871 1444 1062"> ○ LED照明器具の購入経費に対する補助による、家電の省エネ化の推進 ・ 補助率：1/2 ・ 補助上限：10,000 円 ・ 補助台数：約 20,000 台 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="573 1062 840 1198">スマートハウス普及促進事業 (5 百万円)</td> <td data-bbox="840 1062 1444 1198"> ○ 既存住宅の断熱リフォーム等の普及・啓発を実施 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="573 1198 840 1374">中小企業省エネルギー普及啓発・導入支援事業 (22 百万円)</td> <td data-bbox="840 1198 1444 1374"> ○ 省エネ設備改修等促進のための、補助金等の制度周知や活用に向けた個別相談等を実施 ○ 温室効果ガス排出量の「見える化」を中心とした伴走型省エネ支援を実施 </td> </tr> </table>	省エネ機器導入支援事業 (200 百万円)	○ LED照明器具の購入経費に対する補助による、家電の省エネ化の推進 ・ 補助率：1/2 ・ 補助上限：10,000 円 ・ 補助台数：約 20,000 台	スマートハウス普及促進事業 (5 百万円)	○ 既存住宅の断熱リフォーム等の普及・啓発を実施	中小企業省エネルギー普及啓発・導入支援事業 (22 百万円)	○ 省エネ設備改修等促進のための、補助金等の制度周知や活用に向けた個別相談等を実施 ○ 温室効果ガス排出量の「見える化」を中心とした伴走型省エネ支援を実施				
省エネ機器導入支援事業 (200 百万円)	○ LED照明器具の購入経費に対する補助による、家電の省エネ化の推進 ・ 補助率：1/2 ・ 補助上限：10,000 円 ・ 補助台数：約 20,000 台										
スマートハウス普及促進事業 (5 百万円)	○ 既存住宅の断熱リフォーム等の普及・啓発を実施										
中小企業省エネルギー普及啓発・導入支援事業 (22 百万円)	○ 省エネ設備改修等促進のための、補助金等の制度周知や活用に向けた個別相談等を実施 ○ 温室効果ガス排出量の「見える化」を中心とした伴走型省エネ支援を実施										
		<p>【これまでの取組状況・成果】</p> <p>《省エネ機器導入支援事業》(R5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ R5.8.21 から R6.1.21 までキャンペーンを実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 申請件数：23,548 件、申請台数：31,324 台 ・ 申請ポイント数：147,918,000 pt ・ 参加店舗数：488 店舗 <p>《スマートハウス普及促進事業》(R5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 住宅購入や改修を検討している県民、工務店等を対象にセミナー等を開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ セミナー開催回数：3 回（参加者：51 名） ・ イベント出店回数：6 回（参加者：737 名） <p>《中小企業省エネルギー普及啓発・導入支援事業》(R5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ セミナー・相談会開催回数：10 回 （参加者：509 名、参加企業：194 社） ○ 伴走型省エネ支援 県内企業 29 社に対し、CO₂排出量の可視化及び設備投資計画書作成を支援 									

項 目	事 業 概 要		取 組 状 況 等
再エネ導入促進	課題解決型太陽光発電施設導入事業 【新規】 (24 百万円)	○自家消費型太陽光発電の普及に向け、休日の電力需要低下による余剰電力を蓄電池により活用する等、導入における課題を解決するモデル事業を実施	【今後の取組予定】 ○ 省エネ対策等の推進については、引き続き、LED照明機器の購入支援を通じて、県民に省エネ行動について意識啓発を行い、家庭におけるCO2削減につなげるとともに、セミナーや相談会の開催や伴走支援を通じて、事業者における省エネ設備の導入を促進する。 ○ 再エネ導入促進については、自家消費型太陽光発電の課題を解決する事業者に対し、設備等導入経費を補助し、モデルの創出を支援する。また、市町等の水道施設におけるマイクロ小水力発電の導入ポテンシャルを調査し、未利用小水力の活用を推進する。
	水道施設未利用水力等ポテンシャル調査事業 【新規】 (10 百万円)	○マイクロ小水力発電の普及に向けた、市町等の水道施設における未利用小水力の導入ポテンシャル調査を実施	
② 環境・エネルギー産業集積促進事業（カーボンリサイクル技術の推進） 【商工労働局】 182 百万円 広島県カーボン・サーキュラー・エコノミー推進構想に基づき、研究・実証支援やマッチング支援に取り組むとともに、国内外のカーボンリサイクルの最新情勢を踏まえ、推進構想の改定に着手する。 《事業内容》 ○カーボンリサイクル技術の推進 ・本県を舞台にしたカーボンリサイクルに係る研究・実証の支援 ・産学官の連携機会の提供、企業間マッチングの支援 ・推進構想の改定			【これまでの取組状況・成果】 ○ カーボンリサイクル技術の社会実装を推進するため、カーボンリサイクル技術の研究・実証支援制度において、延べ23件の研究・実証テーマを採択。 (R4：9件、R5：14件) ○ R3に設立した産学官連携による「広島県カーボン・サーキュラー・エコノミー推進協議会（以下「CCE協議会」という。）」には、140を超える会員企業や研究者が参画し、社会実装に向けたワーキング活動や会員同士のマッチング支援等を実施。 ○ 国が主催する「第5回カーボンリサイクル産学官国際会議」を誘致し、地方開催として初めて本県で開催され、国内外の関係者に本県の取組を発信するとともに、国際会議参加者と県内高校生・大学生と

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>③ 空港振興事業【一部新規】【土木建築局】 278 百万円（2月補正を含む）</p> <p>空港運営権者や関係機関と連携し、広島空港の航空ネットワークの拡充や空港アクセスの利便性向上等に取り組むことにより、国内外のビジネス、観光等の交流を拡大するとともに、県民の利便性を高める。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ エアポートセールス <ul style="list-style-type: none"> ・ 空港運営権者と連携した航空会社等へのセールス活動 ○ 国際航空ネットワーク再構築支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際定期路線を運航再開又は新規就航する航空会社への支援 ・ グランドハンドリング事業者の体制整備（新規） ○ 空港アクセス利便性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 空港アクセスの路線拡充に向けた実証実験等に必要な経費の一部を負担 ・ 空港アクセスの既存路線維持に向けた関係者による検討会議の運営 ○ 広島空港振興協議会負担金 <ul style="list-style-type: none"> ・ 広島空港の利用促進に係る活動を展開する協議会の活動経費の一部を負担 	<p>の交流事業を実施（R5.9.27）。</p> <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県独自のカーボンリサイクル研究・実証支援やCCE協議会を通じたマッチング支援に取り組むとともに、次世代教育プログラムの提供などの取組を実施する。 ○ R4に策定した「広島県カーボン・サーキュラー・エコノミー推進構想」について、R7以降の取組方針を定めるため、国内外のカーボンリサイクルの最新情勢を踏まえ、推進構想の改定に着手する。 <p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国際定期路線を運航する航空会社に対し、事務所賃借料等の路線維持のために必要となる経費を支援（R2.3～R5.9） ○ 国際定期路線を運航再開・新規就航する航空会社に対し、グランドハンドリングや運航経費の一部を支援（復便・新規4社） ○ あわせて、空港運営権者や関係機関等と連携し、プロモーション等利用促進の取組を実施 ○ 空港アクセス新規2路線の運行実証実験の実施（R5.12～） ○ 国に対し、全国知事会や中国地方知事会、県の施策提案を通じて、地方空港の路線維持や路線の回復に必要な支援及び国際線の復便に不可欠な検疫体制の充実・強化を要請

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>④ 港湾特別整備事業費特別会計【土木建築局】 1,912 百万円</p> <p>港湾・臨海部の産業空間としての一体的な機能の確保のため、臨海部における物流関連用地の造成、荷さばき施設等の整備を行うことにより、企業活動を支える物流基盤の強化を図る。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 港湾機能施設整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・広島港（出島地区）、福山港（箕沖地区、箕島地区） ○ 臨海部土地造成事業 <ul style="list-style-type: none"> ・広島港（出島地区、五日市地区） 	<p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 空港運営権者や関係機関と連携し、国際線の早期復便に向けた航空会社等への支援や、空港アクセスの利便性向上に向けた運行実証実験・検討を実施し、国内外のビジネス、観光等の交流拡大や、県民の利便性向上を図る。 <p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 港湾機能施設整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・広島港出島地区においては、R2から荷役機械の延命化のための工事を実施している。また、コンテナ船の大型化への対応や東南アジア航路の新規就航を可能とするため、R5から荷役機械の新設工事を行っている。 ・福山港箕沖地区においては、R3から荷役機械の延命化のための工事を実施している。 ○ 臨海部土地造成事業 <ul style="list-style-type: none"> ・広島港出島地区においては、H5から土地造成を行い、R6.4時点で、約44haが竣功認可されており、そのうち約18haを分譲している。 ・広島港五日市地区においては、S60から土地造成を行い、R6.4時点で、約47haが竣功認可されており、そのうち約46haを分譲している。 <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、土地造成、荷役機械等の整備を行い、

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等																																																	
<p>・県民の『誇り』につながる強みを伸ばす</p>	<p>⑤ カーボンニュートラルレポートの形成【土木建築局】 32 百万円</p> <p>国際物流の結節点かつ産業拠点となる港湾において、水素・燃料アンモニア等の大量・安定・安価な輸入や貯蔵等を可能とする受入環境の整備や、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化、集積する臨海部産業との連携等を通じて温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラルレポート形成に向けた取組を推進することとし、官民連携により港湾やその周辺の地域の脱炭素化を目指す。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○カーボンニュートラルレポートの形成 ・広島港、福山港及び尾道糸崎港の港湾脱炭素化推進計画策定 <p>⑥ 観光地ひろしま推進事業【商工労働局】 776 百万円</p> <p style="text-align: center;">《DX関連》《ブランド関連》</p> <p>G 7 広島サミットを契機とした広島存在感の高まりを活かし、令和 7 年に開催される大阪・関西万博や世界バラ会議福山大会も見据えながら、観光施策を推進することにより、観光地としての「ひろしまブランド」の価値向上と国内外からのさらなる来訪増の好循環を実現し、観光が本県経済の成長を支える産業の一つとなることを目指す。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ブランド価値の向上につながる魅力づくり ・観光関連データをより詳細に集積し、市町等とも共有する基盤の強化 ・サミット開催で関心が高まった広島の食や平和等を重点テーマとした、付加価値の高い観光プロダクトの開発 ・観光プロダクト開発促進のための幅広い事業者間ネットワークの形成及び専門家による事業化支援 	<p>企業の生産性向上・物流効率化を図る。</p> <p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 広島港及び福山港において、R5 に港湾脱炭素化推進協議会を設立し、第 1 回協議会を開催した。 <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 広島港及び福山港においては、協議会での議論を進め、R6 の計画策定を目指す。また、尾道糸崎港においては、R6 から計画策定に向けた調査・検討に着手する。 <p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 観光客数・宿泊者数の推移 (単位：万人、億円、円/人) <table border="1" data-bbox="1491 869 2136 1177"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R 元</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総観光客数</td> <td>6,989</td> <td>6,504</td> <td>6,719</td> <td>4,207</td> <td>3,966</td> <td>4,907</td> </tr> <tr> <td>外国人観光客数</td> <td>243</td> <td>275</td> <td>276</td> <td>40</td> <td>6</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>宿泊者数</td> <td>963</td> <td>990</td> <td>1,163</td> <td>675</td> <td>584</td> <td>853</td> </tr> <tr> <td>外国人宿泊者数</td> <td>93</td> <td>124</td> <td>132</td> <td>17</td> <td>4</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>観光消費額</td> <td>4,112</td> <td>4,023</td> <td>4,410</td> <td>2,745</td> <td>2,750</td> <td>3,822</td> </tr> <tr> <td>観光消費額単価</td> <td>5,884</td> <td>6,185</td> <td>6,562</td> <td>6,525</td> <td>6,933</td> <td>7,789</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 宿泊者数、外国人宿泊者数は、観光庁宿泊旅行統計調査結果 ※ R5 は集計中</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ブランド価値向上につながる魅力づくり ・市町、地域DMO等と観光関連データやマーケティング手法などについて、勉強会を毎月開催 ・観光プロダクト開発促進補助金 	区分	H29	H30	R 元	R2	R3	R4	総観光客数	6,989	6,504	6,719	4,207	3,966	4,907	外国人観光客数	243	275	276	40	6	16	宿泊者数	963	990	1,163	675	584	853	外国人宿泊者数	93	124	132	17	4	14	観光消費額	4,112	4,023	4,410	2,745	2,750	3,822	観光消費額単価	5,884	6,185	6,562	6,525	6,933	7,789
区分	H29	H30	R 元	R2	R3	R4																																													
総観光客数	6,989	6,504	6,719	4,207	3,966	4,907																																													
外国人観光客数	243	275	276	40	6	16																																													
宿泊者数	963	990	1,163	675	584	853																																													
外国人宿泊者数	93	124	132	17	4	14																																													
観光消費額	4,112	4,023	4,410	2,745	2,750	3,822																																													
観光消費額単価	5,884	6,185	6,562	6,525	6,933	7,789																																													

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等																
	<p>○ 誰もが快適かつ安心して楽しめる受入環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもてなしの質向上に向けた観光関連事業者によるストレスフリー化の推進 ・広島県地域通訳案内士の育成研修等の実施 <p>○ 広島ファンの増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関西及び福岡からのインバウンド誘客促進に向けたキャンペーンの実施 ・自ら広島の魅力を発信するH I Tひろしま観光大使の拡大や新たに開発した観光プロダクト等の効果的な発信 <p>⑦ 企業立地促進対策事業【商工労働局】 7,044 百万円<<DX関連>></p> <p>製造業等を中心とした企業に対し、生産性向上や拠点機能強化に向けた投資の促進を図るとともに、DXの推進やオープン・イノベーション、産業の付加価値向上を左右する重要な要素であるデジタル系分野の人材と企業の広島進出は未だ十分ではないことから、デジタル系企業等の集積を図ることで、県経済の持続的な発展につなげる。</p> <p>《事業内容》</p> <p>○ 企業立地促進助成制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境・エネルギー、医療・健康等先端分野に係る設備投資への助成 ・本社機能（本社、研究開発部門、研修施設等）を広島県内に移転・移設 	<p>補助件数 R5：9件（補助額 33,722 千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光プロダクト開発促進のための幅広い事業者間ネットワーク（プラットフォーム） 参加事業者 1,029 事業者（R6.3 現在） <p>○ 誰もが快適かつ安心して楽しめる受入環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島県地域通訳案内士 登録人数 284 人（R6.3 現在） <p>○ 広島ファンの増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H I Tひろしま観光大使 登録人数 約 21,000 人（R6.4 現在） <p>【今後の取組予定】</p> <p>○ 引き続き、幅広い事業者による多彩で魅力的な観光プロダクト開発や観光関連事業者が行う受入環境整備への支援、ターゲットに応じた効果的な情報発信に取り組む。</p> <p>【これまでの取組状況・成果】</p> <table border="1" data-bbox="1491 1002 2078 1233"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本社・研究開発機能等を移転・拡充した企業数</td> <td>45</td> <td>24</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>企業立地促進助成承認件数</td> <td>70</td> <td>117</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>工場・流通施設の立地状況</td> <td>9</td> <td>11</td> <td>15*</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R6.4.19 現在県が把握している数値</p> <p>【今後の取組予定】</p> <p>○ 市町と連携し、きめ細かな営業活動を行うことで、</p>	区 分	R3	R4	R5	本社・研究開発機能等を移転・拡充した企業数	45	24	31	企業立地促進助成承認件数	70	117	58	工場・流通施設の立地状況	9	11	15*
区 分	R3	R4	R5															
本社・研究開発機能等を移転・拡充した企業数	45	24	31															
企業立地促進助成承認件数	70	117	58															
工場・流通施設の立地状況	9	11	15*															

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>した企業に対し、代表者、社員とその家族に係る転居費用及びオフィス改修費などの初期コストや研究開発に係る費用を助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内のシェアオフィスを短期間利用する県外企業への助成 など <p>⑧ 県産品海外販路拡大支援事業【商工労働局】 39 百万円</p> <p>《事業内容》</p> <p>[県産かきの海外販路拡大]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ アジアでの販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規市場（国・地域）での商流構築に向けた現地での商談会等の実施 ・ これまでに市場開拓した国における輸出継続に向けた県内かき事業者へのフォローや輸入業者へのヒアリング等の実施 ○ EUでの販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな販路拡大に向けた商談会の実施や展示会への出展 ○ 海外ニーズに応じたかきの輸出に向けた県内かき事業者への情報提供等海外展開の促進 <p>[県産日本酒の海外販路拡大]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ フランスを始めとしたEUでのブランド化と販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地販売代理人等を活用した小売店や星付きレストラン等への営業活動の実施 ・ 県内酒造会社や現地輸入業者等と連携した展示会への出展などによるプロモーションの実施等 <p>⑨ 水産業スマート化推進事業（海外展開を見据えたかき生産出荷体制の構築） 【農林水産局】 15 百万円<<DX関連>></p> <p>デジタル技術を活用したかき養殖の生産安定化及び海面漁業の操業効率化並</p>	<p>企業ニーズを把握するほか、SNSをはじめとするWEBを活用し、生活環境を含めた広島の魅力や、産業用地、助成制度の効果的な情報発信を行うことで、より多くの企業の誘致につなげる。</p> <p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県産かきの輸出額 R4:18.3億円 県産日本酒の輸出額 R4: 3.8億円 ○ EUに対して日本初となる冷凍殻付き牡蠣の輸出を開始した。また、広島空港の貨物ターミナル内に新設されたかきの出荷場を活用した鮮度の高い活かきのプロモーションや商談会により、販路拡大に取り組んだ。 <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ EU市場において、フランスで先行してブランド化の取組を進めてきた県産日本酒と県産かきを組み合わせる相乗効果を狙いながら、現地での認知度向上のためにプロモーションや商談会の実施により、アジアを含めた市場へ日本酒やかきを含めた広島の魅力を発信し、さらなる販路拡大を図る。 <p>【これまでの取組状況・成果】</p> <p>[かき養殖におけるデジタル技術の活用]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生産者モニター50名の意見を参考に、利便性が向

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>びに水産資源回復に向けた漁場環境改善等により、かき及び瀬戸内の魚を安定的に供給する体制の構築を目指す。</p> <p>《事業内容》</p> <p>[かき養殖におけるデジタル技術の活用]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 水産プラットフォームの高度化及び運営・保守管理 <ul style="list-style-type: none"> ・水温及び餌料センサーの配置場所の最適化 ・汎用クラウドを利用したプラットフォームの運営・保守管理 ○ 水産プラットフォームを活用した効率的な生産の普及 <ul style="list-style-type: none"> ・水温データを活用したへい死防止対策の情報発信 ・収穫適期の予測を活用した身入りの良いかきの安定生産指導 <p>⑩ おいしい！広島推進事業【新規】【農林水産局】 100 百万円</p> <p style="text-align: center;">《ブランド関連》《人材育成関連》</p> <p>広島サミットで高まった広島のプレゼンスを追い風として、本県の豊かな自然環境に育まれた多彩な食資産を活かし、瀬戸内の四季との相乗効果で、その価値・魅力をさらに高め、県内外から広く共感を獲得することで、広島のおいしいイメージを醸成し、ひろしまブランドの強化を図る。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県内における価値向上と県民との共創 <ul style="list-style-type: none"> ・食材や料理の価値・魅力を伝えることができる料理人の育成 ・県民とのおいしい広島の共創 ○ 県外における広島の食の理解と共感の獲得 	<p>上するようグラフ表示機能や過年度との比較機能を追加 (R5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 漁協等で説明会を実施し、メリットや使い方を説明した結果、プラットフォーム参加者が 20 名増加 (計 70 名) (R5) ○ 水温データを活用したへい死防止対策を実施した結果、へい死率が県内平均より 1 割程度低減 (R5) <p>【今後の取組予定】</p> <p>[かき養殖におけるデジタル技術の活用]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 水温等データを活用した夏場のへい死対策として水温上昇時のアラート機能を追加 ○ データ活用可能地区を 3 地区から 5 地区に増やすとともに、データの収集・蓄積及び分析を行い、収穫適期予測の精度向上を図る。 <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 広島への食に対する理解と共感の獲得に向け、県内や首都圏における効果的なおいしいイメージの醸成を目指し、食に関わる様々な主体との共創や、広島県観光連盟と連携したプロモーションの強化などを行い、県産農林水産物の販路・消費拡大につなげていく。

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>・首都圏における広島の食の魅力浸透 ・海外への情報発信</p> <p>⑪ 広島和牛ブランド構築事業【農林水産局】 44 百万円 《ブランド関連》《人材育成関連》</p> <p>広島和牛を食べる場の創出や、味の特長の調査など、本県の独自性等を生かした広島和牛ブランドの付加価値向上に取り組むことにより、広島和牛の「ひろしま」ブランドとしての強化を図る。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 広島和牛ブランド構築事業 <ul style="list-style-type: none"> ・食べる場づくり・流通の円滑化 ・広島和牛の魅力を訴求するための飼養管理方法の開発 ・広島和牛の認知向上に向けたPR <p>⑫ 瀬戸内さかなブランド化推進事業【農林水産局】 20 百万円 《ブランド関連》《人材育成関連》</p> <p>瀬戸内の魚が持つ強みや特長を生かした広島の食のブランド化の取組を推進し、認知・評価を高め、消費拡大につなげることにより、漁業経営の収益性向上</p>	<p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高級飲食店において営業実証を実施（R4：11 店舗、R5：15 店舗）し、継続的な取扱店舗が 4 店舗となった。 ○ 比婆牛の美味しさ（食味）と肉に含まれる成分との関連性の調査を実施 ○ SNSを活用した情報発信を実施 <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 取扱店舗の拡大に向けた新規店舗を加えた定期提供の実施 ○ 高級飲食店のニーズに対応できる流通の仕組みを検討 ○ 加工品開発等への支援 ○ 広島和牛の特性を持つ肥育用子牛の生産体制を構築するための調査・研究 ○ 首都圏での期間限定イベントの実施や様々な媒体を活用した情報発信、観光業や宿泊業と連携した取組を実施 <p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 飲食店における営業実証 <ul style="list-style-type: none"> ・17 店舗において営業実証するとともに、冊子配布や漁獲から流通までの動画作成、漁業者との交流

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>を図るとともに、持続的な沿岸漁業の構築を目指す。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 飲食店における営業実証 <ul style="list-style-type: none"> ・季節ごとの瀬戸内さかなを満喫できるコース料理等を開発・提供する店舗の拡大 ・調達から料理提供までの流通課題を解決するための支援 ○ 瀬戸内さかなの魅力を生かした商品開発 <ul style="list-style-type: none"> ・営業実証に参加した飲食店における食体験など、瀬戸内さかなの魅力に触れる広島周遊モデルの企画、試行 ○ 瀬戸内さかなのブランド化に向けた情報発信及び連携体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・顧客視点に立った魅力ある情報発信の実施 ・広島の水産関係者と流通、飲食等関係者との連携体制強化 <p>⑬ 森林経営管理推進事業（森林資源利用フローの推進）【農林水産局】</p>	<p>会により、来店者から好評を得た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 瀬戸内魚の魅力を生かした商品の開発 <ul style="list-style-type: none"> ・広島県観光連盟と連携して観光プロダクトを開発し、モニターツアーを実施 ○ 瀬戸内さかなのブランド化に向けた情報発信及び連携体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・シンボルマークの活用に加え、インフルエンサー等による情報発信を実施 ・市場関係者や飲食関係者で構成する協議会に漁業者を加え、情報共有の仕組みを整備 <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 飲食店における営業実証 <ul style="list-style-type: none"> ・営業実証に取り組む飲食店について、広島市域以外にも拡大するとともに、店舗で漁業者との交流会を開催 ○ 瀬戸内魚の魅力を生かした商品の開発 <ul style="list-style-type: none"> ・広島県観光連盟や旅行代理店等と連携し、広島ならではの食体験や多島美を活かした観光プロダクトを開発 ○ 瀬戸内さかなのブランド化に向けた情報発信及び連携体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・県外に対しては30～40代女性向けに、県内に対しては経済人向けに、インフルエンサー等を活用した情報発信を実施 <p>【これまでの取組状況・成果】</p>

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
<p>・ 県民一人一人の夢や希望の実現に向けた『挑戦』を後押し</p>	<p style="text-align: right;">21 百万円</p> <p>所有者の施業意思がない森林や、所有者の特定が困難な森林など、既存の取組では所有者自らが経営管理できていない森林を適切に管理していくため、森林環境譲与税を活用し、森林整備及びその促進を図るための支援を行う。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 林業経営体支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築士や建築系の学生を対象に、木造に関する知識・技術を習得するためのセミナーの開催 ・ 木造建築物に係る相談窓口の設置 ・ 県産材製品の製造事業者等に対する、新製品の開発や販路開拓に係る経費の支援 <p>⑭ カーボンニュートラルへ向けた産業支援事業【一部新規】【商工労働局】</p> <p style="text-align: right;">75 百万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県内製造業者等に対し、サプライチェーン全体でのカーボンニュートラル実現に向けた取組等を支援することにより、カーボンニュートラルを起点とした県内企業の付加価値創出を目指す。 ・ イベント開催やポータルサイトでのオンラインコンテンツの提供等を通じて、機運醸成を行い企業の取組を促進するとともに、企業における取組課題を抽出 ・ 取組課題のうち企業等の連携が必要となるテーマを設定し、ワークショップや勉強会を開催することで、解決策の検討・企業マッチングを支援 ・ 課題整理や企業等のマッチングが実現した先進事例について、モデル化創出に向けた実証を行い、県内製造業者等への横展開を促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住宅以外の木造設計に精通した建築士を育成するためのセミナーを開催するとともに、建築士や施主に対するワンストップ相談窓口を設置し、木造化・木質化に係る情報提供や専門家派遣による技術的な支援などを実施 <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 木製品製造事業者等が、デザイナー等と連携し、県産材が使われていなかった製品や、社会情勢の変化に伴い生まれる新たなニーズに対応した、付加価値の高い製品の開発及び新たな販路を確保する取組を支援 <p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 専門家派遣（伴走型支援） <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業のカーボンニュートラルの取組（CO2排出量算定、CO2排出量低減や新事業の検討等）に対して支援を実施：40件（～R5） ○ イベント開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ カーボンニュートラルへの取組に関する意識醸成や動機付けを目的としたイベントを開催：3回（R5） ○ ポータルサイトの開設 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内企業へカーボンニュートラル関連の情報や取組の初動を支援するコンテンツなどを提供するポータルサイトを開設

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>⑮ 健康・医療関連産業創出支援事業【商工労働局】 92 百万円</p> <p>《事業内容》</p> <p>医療機器、福祉用具に加え、医薬品、機能性表示食品等のヘルスケア全般もターゲットとし、ゲノム（全遺伝情報）編集技術やデジタル技術等も活用した健康・医療関連ビジネスの更なる育成を図る。</p> <p>○ 事業化促進、マッチング支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康・医療関連産業創出支援事業費補助金による開発支援 【限度額】6,000 千円/件 【補助率】1/2～2/3 ※アイデア実証等に活用できる F/S（事業化調査）に特化した少額の補助区分「挑戦型」を新設【限度額】1,000 千円/件 【補助率 2/3】 専任スタッフ等による事業化支援、ビジネスマッチング <p>○ 医療機器等開発人材の育成・集積</p> <ul style="list-style-type: none"> バイオデザインプログラムの推進 ※「バイオデザイン」とは、課題発見型の医療機器を開発するための人材育成プログラム 	<p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 機運醸成 <ul style="list-style-type: none"> ・キックオフイベントを開催（6月予定）するとともに、専用ポータルサイトのコンテンツの充実を図る ○ ワークショップ・勉強会 <ul style="list-style-type: none"> ・企業の抱える課題3テーマを設定し、各3回程度ワークショップ・勉強会を開催する。 ○ 実証事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ・勉強会で設定した3テーマのうち、少なくとも1テーマについての実証を実施 <p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 健康・医療関連分野の付加価値額（県内生産額） R4 実績：290 億円（968 億円） <ul style="list-style-type: none"> ・健康・医療関連産業創出支援事業費補助金採択（R4：12 件、R5：10 件） ・広島大学が実施する「バイオデザインプログラム」を支援（H30.4～） ・バイオエコノミー関連産業創出支援事業費補助金採択（R4：2 件、R5：3 件） <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き健康・医療関連分野における市場拡大が見込まれるため、早期に効果が発現されるよう、関連ビジネス全般の事業化支援や開発促進、マッチング支援などにより、県内企業の生産・受注拡大の促

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>○ ゲノム関連技術の産業活用の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内企業等によるコミュニティづくり、産業集積の促進 ・ バイオエコノミー産業創出支援事業費補助金による研究支援 【限度額】 9,000 千円/件 【補助率】 2/3 <p>※「バイオエコノミー」とは、バイオテクノロジーや再生可能な生物資源等を利活用し、持続的で、再生可能性のある循環型の経済社会を拡大させる概念</p> <p>⑩ 環境・エネルギー産業集積促進事業（カーボンリサイクル技術の推進） 【商工労働局】 182 百万円【再掲】</p> <p>⑪ イノベーション・エコシステム形成事業 【一部新規】【商工労働局】 227 百万円《DX関連》《ブランド関連》《人材育成関連》</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 世界に選ばれる「イノベーション創出拠点ひろしま」として国内外に認知されるイノベーション・エコシステムを形成する。 ・ 産学官の多様な人材や資金、情報等が集まって結びつき、イノベーションを次々と生み出すような循環の場づくりとして「イノベーション・ハブ・ひろしまCamp s」を運営 ・ Camp s 独自のアクセラレーションプログラムや民間主導の新規事業開発プログラムなど、多彩なメニューを提供し、企業から起業家まで幅広い事業創造を支援 ・ 挑戦することが当たり前の土壌・文化を醸成し、さらに、本県から世界に羽ばたき急成長する企業を創出するため、「ひろしまユニコーン10」プロジェクトにおいて、将来性や市場性を有するスタートアップ企業を発掘し、事業モデルを磨き上げ、ベンチャーキャピタル等へ橋渡し ・ 主に首都圏のスタートアップ企業や起業家、ベンチャーキャピタルを広島に 	<p>進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県内でのバイオ関連産業の集積を促進するため、県内企業の参画拡大及び成長ステージに応じた支援を行う。 <p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ イノベーション・ハブ・ひろしま Camp s の活動状況 <ul style="list-style-type: none"> ・ 会員数 3,276 名 (R5 : 205 名増) ・ Camp s アクセラレーションプログラムの実施 (R5 : 採択 15 者 (応募 51 者)) ・ 海外進出支援プラットフォームの構築や広島式教育実習のプログラムの開発など Camp s スタッフ及び専門家が多様な事業の伴走支援を実施 ○ 「ひろしまユニコーン10」プロジェクトの活動状況 <ul style="list-style-type: none"> ・ アクセラレーションプログラムの実施 R5 : 採択 16 社 (応募 33 社) 資金調達実績 (過年度参加者含む) : 6 社・14 億円 事業会社との業務提携等 : 複数社 (いずれも公表ベース)

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>惹きつけ、進出・投資につなげるプロモーションを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバルなマーケットの獲得を目指す県内スタートアップ企業等に対し、東南アジア等を中心とする現地のプラットフォームを活用したネットワークの構築や拠点設置等を支援 ・デジタル活用による生産性の向上・付加価値創出をリードする人材を育成 <p>⑱ 中小企業イノベーション促進支援事業（新事業展開等支援事業）【一部新規】 【商工労働局】 156 百万円</p>	<p>○ ものづくり人材育成センター（(公財) ひろしま産業振興機構）の活動状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくり現場 I o T 推進リーダー育成塾 R5：9社・21名 ・I o T 実践道場 R5：3社 <p>【今後の取組予定】</p> <p>○ イノベーション・ハブ・ひろしまC a m p s の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・C a m p s 専属スタッフが、随時、ビジネスに係る相談に対応するほか、産学金官に係る人材交流・情報交換イベント等を開催し、コミュニティを拡大 ・C a m p s アクセラレーションプログラムを通じた事業化支援 <p>○ 「ひろしまユニコーン10」プロジェクトの活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクセラレーションプログラムを通じたスタートアップ企業の成長支援 ・現地ネットワーク構築等によるスタートアップ企業等の海外進出支援 ・首都圏プロモーション実施 <p>○ ものづくり人材育成センターの活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営課題に直結する自社課題分析・メンタリング、デジタル活用の基盤となる現場改善視点を強化 <p>【これまでの取組状況・成果】</p> <p>○ 中小企業イノベーション促進支援</p>

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>《事業内容》</p> <p>県内産業の付加価値の拡大や競争力の強化を図るため、県内中小企業等の新事業展開等を支援することにより、県経済を牽引する企業の育成・集積を図る。</p> <p>○ 中小企業イノベーション促進支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マーケティングから市場獲得までの各分野において全国で活躍する専門家により構成された支援チームが、中小企業を集中支援 ・技術・経営力の評価や、成長プランの作成により、企業価値や競争力の向上による企業成長を目指し支援 ・中小事業者がビジネスプランに基づき取り組む新たなビジネスモデル等の実現に向けた開発経費の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム型支援企業： (H27～R4) 88 社 (R5) 7 社 ・技術経営力評価書発行実績： (H25～R4) 412 件 (R5) 32 件 ・評価書に基づく融資実績： (H25～R4) 535 件 16,848 百万円 (R5) 16 件 534 百万円 ・中小・ベンチャー企業チャレンジ応援： (R4) 6 件採択 17 百万円 (R5) 6 件採択 28 百万円 <p>【今後の取組予定】</p> <p>○ 中小企業イノベーション促進支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チーム型支援 ものづくり企業等への支援拡大を図り、個別訪問等を強化するとともに、資金面や事業の方向性等、チャレンジ応援事業や成長プラン策定支援等と連携した支援に取り組む。 ・中小企業成長プラン策定支援 評価書で明らかになった課題に対する解決策の提案や専門家による支援等に取り組む。 ・中小・ベンチャー企業チャレンジ応援 金融機関や大学をはじめとする様々な媒体の活用や、企業訪問を通じた案件の発掘により、利用促進を図る。

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>⑱ 中小企業イノベーション促進支援事業（生産性向上支援事業）【商工労働局】 43 百万円《DX 関連》</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ サービス産業において生産性向上を図るため、付加価値の創出や業務の効率化の取組を支援する。 <ul style="list-style-type: none"> ・業務の効率化等の課題解決に向けた取組を考え、実行を促す機会の提供 ・企業に収集・蓄積されたデータを分析・活用する学びの場の提供（セミナー、ワークショップ） ・革新的なサービス等のイノベーションを創出する組織を作るための知見や技法を学ぶ機会の提供 	<p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ サービス産業生産性向上支援 <ul style="list-style-type: none"> ・現場改善ワークショップ等の実施 (R4) 4 回開催、延べ 109 名参加 (R5) 4 回開催、延べ 65 名参加 ・データ分析・活用による生産性向上セミナー等の実施 (R4) 延べ 76 社参加 (R5) 延べ 123 社参加 ・イノベーション創出スクールの実施 (R4) 全 34 回、63 社参加 (R5) 全 29 回、64 社参加 <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ サービス産業生産性向上支援 <ul style="list-style-type: none"> ・実践型現場改善ワークショップ、データ分析・活用業務プロセス見直し等の現場改善や保有するデータ活用の分析・活用による生産性向上に向けた企業内での行動変容の後押し等、産業支援機関を通じた支援に取り組むとともに、啓発活動により県内全体への波及を図る。 ・イノベーション創出スクール イノベーション創出に必要な組織づくりを目指す民間主体による「学びの場」を根付かせるための環境整備を支援するとともに、経営資源が限られる中小企業同士が連携して取り組むプロジェクト

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>㊵ 食のイノベーション推進事業【農林水産局】 50 百万円</p> <p>農林漁業者と多様な業種の企業が連携し、専門家のアドバイスを受けながら、広島を誇る新商品や新サービスの提供等、新たなビジネスを創発する取組を進めることにより、農林漁業者の「稼ぐ力」を高める。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ プロジェクトの立ち上げと新たなビジネスの実現 <ul style="list-style-type: none"> ・農林漁業者と企業のマッチング及びプロジェクトの実行計画の作成支援 ・新商品や新サービスの提供に向けた専門家による課題解決と現地実証に係る経費の支援 <p>【新規採択件数】 3 件 【支援期間】 最長 3 年</p> <p>㊶ ひろしま型スマート農業推進事業【一部新規】【農林水産局】 144 百万円 《DX関連》</p> <p>広島県の中山間地域に対応した、ひろしま型スマート農業技術を確立するとともに、これらを活用した経営モデルを構築し、普及させることにより、生産性の高い農業の実現を図る。</p> <p>《事業内容》</p>	<p>の実行を通じたイノベーションの創出による、生産性向上を図る。</p> <p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新たにビジネスに取り組もうとする農業経営体や企業等に対し、プロジェクトの募集を行い、R4に3件、R5に3件採択 ○ これまで採択した6件に対し、現地実証による経費を支援するとともに、専門家による週1回程度の定例ミーティングを行い、実証に係る課題解決を図った。 <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新規採択3件に向け、今年度は水産分野を対象に広げて募集し、意欲ある事業者に対して事業計画の作成などを支援 ○ これまで採択した6件と、新規採択する3件について、実証に係る課題の解決に向けた専門家による伴走支援等により、新たなビジネスの創発につなげる。 <p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 実証テーマ数：9テーマ ○ R3実証事業（3テーマ：軟弱野菜、カット用青ネギ、ぶどう）：費用対効果の検証を進め収益性の高い経営モデルを作成 ○ R4実証事業（3テーマ：トマト、レモン等、水稻）：

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>○ 現地実証試験の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普及可能性の高い技術テーマについて実証試験を実施 ・農業経営体と連携し、技術導入に向けた課題を抽出 <p>○ コンソーシアムによる技術の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間企業や専門家等とコンソーシアムを組織 ・実証試験で抽出された課題を解決し、中山間地域に対応したスマート農業技術への改良 ・改良した技術の普及に向け、経営モデルの検討・構築 <p>○ 担い手への普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひろしまスマート農業推進協議会（アクティビティ「ひろしま seedbox」）による農業者への情報発信 ・アドバイザーの伴走支援による構築した経営モデルの実装 <p>㉓ 森林経営管理推進事業（森林資源経営サイクルの構築）【農林水産局】 112 百万円<<DX関連>> 所有者の施業意思がない森林や、所有者の特定が困難な森林など、既存の取組では所有者自らが経営管理できていない森林を適切に管理していくため、森林環境譲与税を活用し、森林整備及びその促進を図るための支援を行う。 《事業内容》</p>	<p>実証試験において抽出された課題を踏まえ、11の実証技術の改良版が完成</p> <p>○ R5 実証事業（3テーマ：施設アスパラガス、なし・りんご、畜産）：実証試験を実施し、9の実証技術の方向性を整理し、うち3つの改良版が完成</p> <p>○ ひろしまスマート農業推進協議会において、実証事業の取組を紹介するセミナー等を6回開催（R5） ※協議会登録数：399（農業者111、企業等288）</p> <p>【今後の取組予定】</p> <p>○ R3 実証事業：完成した技術の「お試し利用」やアドバイザーによる伴走支援を行いながら、経営モデルを農業者の経営状況に合わせてカスタマイズし、実装を進める。</p> <p>○ R4 実証事業：経営モデルを構築し、普及に向けた協議を実施</p> <p>○ R5 実証事業：技術改良の方向性に基づき生産性の高い技術として体系化</p> <p>○ 農業者等に協議会への会員登録を促すとともに、会員等を対象に実証ほ場でのセミナー等を開催</p> <p>【これまでの取組状況・成果】</p> <p>○ 外部専門家を活用した長期的な経営戦略の作成などの取組を支援したことにより、経営力の高い林業経営体をR5までに11社育成</p> <p>○ ICT機器を搭載した高性能林業機械などのスマート林業機械を活用した低コスト造林技術の実証</p>

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等									
<p>2 物価高騰への対応 ・物価高騰による影響の緩和</p>	<p>○ 市町支援 ・森林集積活動に関する相談体制の構築 ・森林経営管理制度を活用し取組を進める市町に対する支援 ・市町職員や地域における集積担当者を対象とした研修 など</p> <p>○ 林業経営体支援 ・外部専門家を活用し、長期的な森林経営に向けて経営改善に取り組む林業経営体を支援 ・就業希望者・新規就業者に対する個別支援 ・低コスト再造林技術の確立・普及や、コウヨウザンのノウサギによる食害に対する効果的な対策の確立 など</p> <p>② 林業・木材産業等競争力強化対策事業（森林資源経営サイクルの構築） 【農林水産局】 145 百万円（2月補正を含む） 県産材の安定的・効率的な供給体制の構築に向け、川上から川下までの総合的な取組を行うことにより、林業・木材産業の成長産業化を実現する。 《事業内容》</p> <p>○ 林業生産基盤強化対策 ・県産材の安定供給のための搬出間伐、路網整備、高性能林業機械の導入、採種園の整備を支援</p> <p>① 特別高圧電気料金高騰対策中小事業者等支援事業【商工労働局】 1,185 百万円（12月補正） 《事業内容》</p> <p>○ 特別高圧契約により受電した電気を使用する県内中小事業者等に対して、電気料金高騰の影響額の一部を支援する。</p>	<p>を実施</p> <p>【今後の取組予定】</p> <p>○ 引き続き、林業経営体の長期的な経営戦略の作成や実践に対する外部専門家による支援を行い、林業経営体の状況や課題に応じた取組を後押しし、経営力の高い林業経営体を育成</p> <p>○ コウヨウザンのノウサギによる被害対策について、単木保護が適さない積雪地で勾配がある箇所において忌避剤による防除効果を実証</p> <p>【これまでの取組状況・成果】</p> <p>○ 搬出間伐や路網整備等に対する支援により、主伐及び間伐の生産性が向上 (R3 : 8.8 m³/人日、R4 : 8.9 m³/人日、R5 : 集計中)</p> <p>【今後の取組予定】</p> <p>○ 主伐及び間伐の生産性向上に向けて、高性能林業機械の導入や森林作業道の整備などを通じて、主伐や間伐などの各段階で、更なる生産性の向上に取り組む。</p> <p>【これまでの取組状況・成果】</p> <table border="1" data-bbox="1491 1225 2047 1366"> <thead> <tr> <th>期</th> <th>支援件数</th> <th>支援金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1期</td> <td>314件</td> <td>1,320百万円</td> </tr> <tr> <td>第2期</td> <td>330件</td> <td>368百万円</td> </tr> </tbody> </table>	期	支援件数	支援金額	第1期	314件	1,320百万円	第2期	330件	368百万円
期	支援件数	支援金額									
第1期	314件	1,320百万円									
第2期	330件	368百万円									

項 目	事 業 概 要			取 組 状 況 等																																							
	<table border="1" data-bbox="562 204 1355 472"> <thead> <tr> <th>期</th> <th>支援対象期間</th> <th>支援金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1期</td> <td>R5.4～R5.9</td> <td>3.5円/kWh (R5.4～R5.8) 1.8円/kWh (R5.9)</td> </tr> <tr> <td>第2期</td> <td>R5.10～R5.12</td> <td>1.8円/kWh (R5.10～R5.12)</td> </tr> <tr> <td>第3期 (実施中)</td> <td>R6.1～R6.5</td> <td>1.8円/kWh (R6.1～R6.4) 0.9円/kWh (R6.5)</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="510 523 1464 555">② LPガス料金高騰対策支援事業【商工労働局】 1,076百万円(12月補正)</p> <p data-bbox="524 568 663 600">《事業内容》</p> <p data-bbox="539 612 1464 686">○ 家庭業務用LPガスを使用している県内の一般家庭及び中小企業等に対して、LPガス販売事業者を通じ、料金高騰の影響額の一部を支援する。</p> <table border="1" data-bbox="562 692 1355 932"> <thead> <tr> <th>期</th> <th>支援対象期間</th> <th>支援金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1期</td> <td>R5.4～R5.9</td> <td>最大3,000円 500円/月 (R5.4～R5.9)</td> </tr> <tr> <td>第2期 (実施中)</td> <td>R5.10～R6.5</td> <td>最大1,880円 250円/月 (R5.10～R6.4) 130円/月 (R6.5)</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="510 983 1464 1056">③ 電力・ガス・物価高騰等中小企業支援緊急対策事業【商工労働局】 300百万円(12月補正)</p> <p data-bbox="524 1069 663 1101">《事業内容》</p> <p data-bbox="539 1114 1464 1187">○ 電力・ガス・物価高騰等の影響を大きく受けた県内中小事業者に対して、市町が単独で支援事業を行う場合、県が事業費の一部を補助する。</p> <table border="1" data-bbox="533 1197 1431 1407"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助対象事業</td> <td>LPガスを始めとした電力・ガス・物価高騰等の影響を受けた事業者支援</td> </tr> <tr> <td>補助率</td> <td>市町の事業者支援額の1/2以内</td> </tr> </tbody> </table>			期	支援対象期間	支援金額	第1期	R5.4～R5.9	3.5円/kWh (R5.4～R5.8) 1.8円/kWh (R5.9)	第2期	R5.10～R5.12	1.8円/kWh (R5.10～R5.12)	第3期 (実施中)	R6.1～R6.5	1.8円/kWh (R6.1～R6.4) 0.9円/kWh (R6.5)	期	支援対象期間	支援金額	第1期	R5.4～R5.9	最大3,000円 500円/月 (R5.4～R5.9)	第2期 (実施中)	R5.10～R6.5	最大1,880円 250円/月 (R5.10～R6.4) 130円/月 (R6.5)	区分	内容	補助対象事業	LPガスを始めとした電力・ガス・物価高騰等の影響を受けた事業者支援	補助率	市町の事業者支援額の1/2以内	<p data-bbox="1503 213 1720 245">【今後の取組予定】</p> <p data-bbox="1491 258 2136 421">○ 第3期分の支援を着実に実施するとともに、特別高圧契約による電気料金高騰への支援など、国と歩調を合わせて実施すべき対策については、今後の国の動向に応じ、迅速かつ適切に対応する。</p> <p data-bbox="1503 523 1854 555">【これまでの取組状況・成果】</p> <table border="1" data-bbox="1491 561 2047 660"> <thead> <tr> <th>期</th> <th>支援件数</th> <th>支援金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1期</td> <td>約55万件</td> <td>1,639百万円</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1503 715 1720 746">【今後の取組予定】</p> <p data-bbox="1491 759 2136 922">○ 第2期分の支援を着実に実施するとともに、LPガスの料金高騰への支援など、国と歩調を合わせて実施すべき対策については、今後の国の動向に応じ、迅速かつ適切に対応する。</p> <p data-bbox="1503 976 1854 1008">【これまでの取組状況・成果】</p> <table border="1" data-bbox="1491 1015 2047 1114"> <thead> <tr> <th>期</th> <th>実施市町数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1期</td> <td>18市町</td> <td>535百万円</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1503 1168 1720 1200">【今後の取組予定】</p> <p data-bbox="1491 1212 2136 1327">○ 第2期分の交付決定を受けた市町に対し、適切な進捗管理を行うとともに、今後の物価高騰等の状況を注視し、必要な支援策を検討する。</p>	期	支援件数	支援金額	第1期	約55万件	1,639百万円	期	実施市町数	補助金額	第1期	18市町	535百万円
期	支援対象期間	支援金額																																									
第1期	R5.4～R5.9	3.5円/kWh (R5.4～R5.8) 1.8円/kWh (R5.9)																																									
第2期	R5.10～R5.12	1.8円/kWh (R5.10～R5.12)																																									
第3期 (実施中)	R6.1～R6.5	1.8円/kWh (R6.1～R6.4) 0.9円/kWh (R6.5)																																									
期	支援対象期間	支援金額																																									
第1期	R5.4～R5.9	最大3,000円 500円/月 (R5.4～R5.9)																																									
第2期 (実施中)	R5.10～R6.5	最大1,880円 250円/月 (R5.10～R6.4) 130円/月 (R6.5)																																									
区分	内容																																										
補助対象事業	LPガスを始めとした電力・ガス・物価高騰等の影響を受けた事業者支援																																										
補助率	市町の事業者支援額の1/2以内																																										
期	支援件数	支援金額																																									
第1期	約55万件	1,639百万円																																									
期	実施市町数	補助金額																																									
第1期	18市町	535百万円																																									

項 目	事 業 概 要		取 組 状 況 等
<p>・将来を見据えた構造的な課題に取り組む事業者等への支援</p>	補助対象事業期間	第1期 R5.7～R6.2	<p>【これまでの取組状況・成果】</p> <p>○ 新たな価値づくり研究開発支援補助金交付決定 (R6.4) : 11件、379百万円</p> <p>【今後の取組予定】</p> <p>○ 本事業の交付決定を受けた企業に対し、開発目標を達成できるよう、適切な事業進捗管理を行うとともに、きめ細かにサポートを行う。</p> <p>【これまでの取組状況・成果】</p> <p>○ R6.2.6～R6.3.6の期間で公募を実施し、審査の上、補助対象事業者を決定（採択社数35社）。</p> <p>【今後の取組予定】</p> <p>○ R7.1.31の実績報告まで確実な進捗管理を行うとともに、採択企業を含め、事業者の海外展開ニーズ</p>
		第2期 (実施中) R5.12～R6.12	
	<p>④ 地球温暖化対策推進事業【環境県民局】 200百万円 一部再掲</p> <p>⑤ 新たな価値づくり研究開発支援事業【商工労働局】 380百万円 (12月補正)</p> <p>《事業内容》</p> <p>○ 物価高騰等の影響による厳しい経営環境においても研究開発投資を減退させることなく、デジタル化やカーボンニュートラル等の環境変化に対応していくための前向きな研究開発に対して支援していくことで、本県製造業者等の持続的な発展を図るため、取り組むべき課題と技術構想が明確になっている応用・実用化開発を支援する。</p> <p>【限度額】 50,000千円</p> <p>【補助率】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般型 1/2以内 ・重点型 2/3以内 <p>(デジタル化の推進及びカーボンニュートラルの実現に資するテーマ)</p> <p>⑥ 円安を契機とした企業の海外展開挑戦支援事業【商工労働局】 210百万円 (12月補正)</p> <p>《事業内容》</p> <p>○ エネルギー価格・物価高騰の影響等がある中で、県内企業の体質強化・生産性の向上に向け、円安を契機として、新たに海外への販路拡大等に挑戦する県内企業を支援する。</p> <p>【補助対象経費】</p>		

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<ul style="list-style-type: none"> ・海外向け商品開発費用 ・海外向け販売促進（マーケティング・広告宣伝露出等）費用 ・海外向けECサイト等登録費用 ・伴走支援経費（コンサルティング費用）等 <p>【補助率】 2/3 【支援企業数】 40 社程度</p> <p>⑦ 地球温暖化対策推進事業【環境県民局】 227 百万円 一部再掲</p> <p>⑧ カーボンニュートラルへ向けた産業支援事業【一部新規】【商工労働局】 75 百万円 再掲</p> <p>⑨ 農産物生産供給体制強化事業（資源循環型肥料活用促進）【農林水産局】 4 百万円</p> <p>園芸作物等の導入や、農業資材の価格高騰等による外部環境リスクの影響を受けにくい経営構造への転換を推進し、担い手の農業経営の維持、発展を図る。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 輸入資材に過度に依存しない農業の確立に向け、鶏糞堆肥の新たな施用法等の開発に係る実証等 <p>⑩ 企業立地促進対策事業【商工労働局】 7,044 百万円 《DX関連》再掲</p> <p>⑪ おいしい！広島推進事業【新規】【農林水産局】 100 百万円 《ブランド関連》《人材育成関連》再掲</p>	<p>を把握し、必要な施策を検討する。</p> <p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 鶏糞堆肥の新たな施用法等の開発に向けて、農業技術センターで試験栽培を実施するとともに、県内現地に実証ほ場を5か所設置（R5） <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、実証栽培等を継続し、適正な施用法を整理するとともに、実証結果等を県内の耕種農家及び畜産農家へ周知

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>⑫ 広島和牛ブランド構築事業【農林水産局】 44 百万円 ≪ブランド関連≫ ≪人材育成関連≫ 再掲</p> <p>⑬ 瀬戸内さかなブランド化推進事業【農林水産局】 20 百万円 ≪ブランド関連≫ ≪人材育成関連≫ 再掲</p> <p>⑭ 食のイノベーション推進事業【農林水産局】 50 百万円 再掲</p> <p>⑮ ひろしま型スマート農業推進事業【一部新規】【農林水産局】 144 百万円 ≪DX関連≫ 再掲</p> <p>⑯ 水産業スマート化推進事業【農林水産局】 34 百万円 ≪DX関連≫ 一部再掲</p> <p>《事業内容》 [かき養殖におけるデジタル技術の活用] ○ 水産プラットフォームの高度化及び運営・保守管理 ・水温及び餌料センサーの配置場所の最適化 ・汎用クラウドを利用したプラットフォームの運営・保守管理 ○ 水産プラットフォームを活用した効率的な生産の普及 ・水温データを活用したへい死防止対策の情報発信 ・収穫適期の予測を活用した身入りの良いかきの安定生産指導 [海面漁業におけるデジタル技術の活用] ○ ICT漁獲技術の実証 ・小型底びき網漁における水中障害物情報等の共有による操業リスクの回避 や小型定置網漁における網の遠隔監視等による操業の効率化 ○ 技術習得支援</p>	<p>【これまでの取組状況・成果】 [かき養殖におけるデジタル技術の活用] ○ 生産者モニター50名の意見を参考に、利便性が向上するようグラフ表示機能や過年度との比較機能を追加 (R5) ○ 漁協等で説明会を実施し、メリットや使い方を説明した結果、プラットフォーム参加者が20名増加 (計70名) (R5) ○ 水温データを活用したへい死防止対策を実施した結果、へい死率が県内平均より1割程度低減 (R5) [海面漁業におけるデジタル技術の活用] ○ ICT漁獲技術の実証については、実証試験を行い、技術の有効性を確認するとともに、操作の簡便化など課題を抽出 ○ 技術習得支援については、経験豊富な漁業者と研</p>

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>・ I C Tを活用した操業の見える化により蓄積されたデータを用いた新規漁業者研修プログラムの開発</p> <p>[水産資源の回復]</p> <p>○ 海底耕うん後の環境改善効果の検証</p> <p>・ 底質や底生生物等の調査</p> <p>⑰ 森林経営管理推進事業【農林水産局】 101 百万円<<DX関連>>一部再掲</p> <p>⑱ 輸出促進施設等整備支援事業【農林水産局】 15 百万円（2月補正） 輸出先国の規制や輸出先のニーズに対応するための施設や機器の整備等</p>	<p>修生の漁獲状況の比較など技術向上に実用性の高いシステムに向け改善の検討を実施</p> <p>[水産資源の回復]</p> <p>○ 海底耕うん後の環境改善効果の検証</p> <p>・ R3.11 に呉市沖で、R4.9 に県東部海域で海底耕うんを実施し、効果調査を実施</p> <p>【今後の取組予定】</p> <p>[かき養殖におけるデジタル技術の活用]</p> <p>○ 水温等データを活用した夏場のへい死対策として水温上昇時のアラート機能を追加</p> <p>○ データ活用可能地区を3地区から5地区に増やすとともに、データの収集・蓄積及び分析を行い、収穫適期予測の精度向上を図る。</p> <p>[海面漁業におけるデジタル技術の活用]</p> <p>○ 効率的な操業に向けた I C T技術の導入に加え、新規就業者の研修制度にデジタル技術を活用したプログラムを検討</p> <p>[水産資源の回復]</p> <p>○ 海底耕うん後の環境改善効果の検証</p> <p>・ R3 及び R4 に実施した海底耕うん実施後の効果調査を実施</p> <p>【これまでの取組状況・成果】</p> <p>○ 食品事業者等の輸出先国のニーズに対応した施設</p>

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>を支援することにより、県内食品事業者等による輸出の維持・拡大を図る。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 輸出を行う県内食品事業者に対する支援 <ul style="list-style-type: none"> ・輸出先が求める衛生基準に対応するために必要な施設や機器の整備 ・食品安全に関する国際規格の認証に係る審査等 <p>⑱ 畜産競争力強化対策事業【農林水産局】 15 百万円（2月補正）</p> <p>畜産経営体の生産基盤の整備により、畜産物の国際化の進展に備えた収益性の高い畜産経営体の育成を図る。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ アニマルウェルフェアに配慮した鶏卵生産を行うため、平飼いに適した鶏舎の整備を支援 ○ 鶏卵生産の省力化及び生産量の増加を図るため、自動集卵設備等の整備を支援 	<p>整備等を R2 から支援しており、これまでに 6 事業者を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ R5 は次の 2 事業者の取組を支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ウイスキーやジンなどを製造する事業者が行う、欧米諸国への輸出拡大に向けた FSSC22000 の認証取得、及び生産性向上のための製造・充当ラインの整備 ・鶏卵加工業者が行う、冷凍液卵の香港への輸出拡大に向けた FSSC22000 認証取得のための製造機器導入及び床材塗装に係る経費 <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ R6 は次の 1 事業者の取組を支援予定 <ul style="list-style-type: none"> ・食酢などの調味料を製造する事業者が行う、欧米諸国等への輸出拡大に向けた FSSC22000 の認証更新、及び更新に必要な容器洗浄機の導入 ○ 併せて、新たに取組を志向する事業者の掘り起こしを図る。 <p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 酪農経営体の家畜排せつ物処理施設及び肉用牛繁殖経営体の繁殖牛舎の整備を支援：2 件、73 百万円（R3） <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 鶏舎等の整備による畜産経営体の経営力向上を支援

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
3 人手不足への対応	<p>⑩ 農産物生産供給体制強化事業（産地競争力強化等）【農林水産局】 223 百万円《DX関連》（2月補正を含む） 一部再掲</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 産地の基幹施設や園芸産地における収益力強化に向けたスマート農業機械等の整備に対する支援 ○ 生産の効率化等に取り組む担い手による農業機械・施設の整備に対する支援 <p>⑪ 林業・木材産業等競争力強化対策事業【農林水産局】 253 百万円 （2月補正含む） 一部再掲</p> <p>① 企業立地促進対策事業【商工労働局】 7,044 百万円《DX関連》 再掲</p> <p>② ひろしま型スマート農業推進事業【一部新規】【農林水産局】 144 百万円 《DX関連》 再掲</p>	<p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新規就農者3名に対し、アスパラガス、ほうれんそう栽培のためのパイプハウス等、及び集落法人の共同利用のためのエダマメ収穫機の導入を支援：4件、21百万円（R5） ○ 燃油高騰の影響を受けにくい経営への転換のために、木質バイオマスボイラー、循環扇、多段式サーモ、機能性の高い内張カーテン等の省エネ機器等の導入を支援：25件、41百万円（R5） <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ R6は次の支援を予定 <ul style="list-style-type: none"> ・酒米産地に対し、原形精米機の整備 ・集落法人に対し、水稻乾燥調製施設の整備 ・ミニトマト栽培のためのパイプハウス等の導入 ・水稻やレンコン用の農業機械等の導入

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>③ 水産業スマート化推進事業【農林水産局】 34 百万円<<DX関連>> 一部再掲</p> <p>④ 森林経営管理推進事業【農林水産局】 101 百万円<<DX関連>> 一部再掲</p> <p>⑤ 空港振興事業【一部新規】【土木建築局】 40 百万円（2月補正）再掲</p>	